

防災リーダー講習会 「避難所開設・運営演習」

が開催されました



防災リーダー講習会

7月号でもお知らせしましたが、羽村市町内会連合会では、地域の防災リーダーとなる人材を育成するため、防災リーダー講習会を開催しています。毎年恒例の講習会（普通救命、消火訓練等）に加え、今年新たに「避難所開設・運営演習」を実施しました。11月17日（土）、市内の町内会・自治会から、会長、防災部長等71人が参加しました。

演習の概要

防災士研修センターから講師を招き、「多発する災害、避難所運営の問題点」と題した基調講演をしていただいた後、避難所開設と運営について、演習と模擬運営会議を実施し、何を優先させるべきか等の課題に取り組みました。

7～8人のグループに別れ、防災士研修センター職員のアドバイスのもと、※ロールプレイング方式による模擬訓練を行いました。

避難所となる施設の使い方、避難者受け入れの時に配慮すること、運営方法といった流れを追いながら、その都度グループで話し合いを行います。

限られた時間の中で、積極的に意見を出し合い、工夫を凝らしながら答えを導き出している参加者の姿は真剣その

もので、「自分たちの地域は自分たちで守る」との意識がひしひしと伝わってきました。

参加した誰もが、避難所の重要性や運営の難しさ等について認識を深められたものと思います。

さらには、各町内会・自治会から複数の方々に参加いただいたので、他の地域の方との顔のわかる「つながり創り」のきっかけとして、大変貴重な機会となったのではないのでしょうか。

※それぞれに与えられた役割を自発的・創造的に演ずること。

こうした取り組みは、災害対応に関する知識や技術の修得に留まらず、地域を越えた人と人のつながりを強め、災害に強いまちの基盤をつくる、大変重要なものであると考えられます。

事前の備えが大切であることは言うまでもありませんが、具体的な取り組みの一つとして、今後も注目です。

市民活動講座

「振り込め詐欺から身を守ろう」

～実演と講話から学ぶ～ を開催します！

60歳以上の世代の方々を中心に被害が広がっている「振り込め詐欺」。被害に遭った方の9割は「自分は大丈夫だと思っていた」「詐欺について考えたこともなかった」と答えています。

あなたのところにも、犯人から電話がかかってくるかもしれません。

プロの劇団による迫真の演技と講話で、被害に遭わないための**対処法**を学びましょう

ご高齢の方だけでなく、そのご家族の皆さんも必見です。

みんなで作って、犯罪に強い地域をつくりましょう。

日時：1月26日（土） 午後2時～3時半

会場：コミュニティセンター3階ホール

内容：実演「振り込め詐欺寸劇」（協力：東京都青少年・治安対策本部）

講話 福生警察署職員・警視庁振り込め詐欺防止アドバイザー

定員：180人 先着順・申込み不要です

主催：羽村市・NPO法人市民パトロールセンターはむら

